

株式会社イーピーメント

2011年8月19日

市場	大証 (JQ スタンダード)	業績 (百万円)	2009/9	2010/9	2011/6 (3Q)
上場承認日	2011/ 8/ 12	営業収益	3,347	4,057	3,530
上場予定日	2011/ 9/ 16	営業利益	501	606	640
主幹事証券	みずほ証券	経常利益	499	605	640
監査法人	有限責任監査法人トーマツ	当期利益	499	605	625
URL	http://www.epmint.co.jp/	総資産	2,794	3,384	3,559
証券コード	6052	純資産	2,153	2,459	2,754

● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は2010/9期)

- ・ 同社は、医療機関から臨床試験業務の一部を受託する SMO (Site Management Organization) 事業を行っている。SMO 事業は、治験 (第 I 相、第 II 相、第 III 相試験) 及び製造販売後臨床試験を対象としており、主に事務局業務 (標準業務手順書の整備、治験事務局の設置運営補助、治験審査委員会の設置運営補助) と CRC 業務 (治験コーディネーター (CRC) が治験担当医師・被験者・製薬企業等との調整を行うことで臨床試験が円滑に実施されるようにする) の 2 つの業務から構成されている。
- ・ 同社は東証一部上場のイーピーエス (株) の子会社である。イーピーエス (株) は、製薬会社から CRO 事業 (Contract Research Organization : 製薬会社から臨床試験の運営・管理の一部又は全部を受託) を実施している。同社は医療機関から、イーピーエス (株) は製薬会社からと、委託元により親子間での業務棲み分けがなされている。
- ・ 事業は SMO 事業の単一セグメントであるが、厚生労働省の定める GCP (Good Clinical Practice : 臨床試験を適正に実施するための手順) 省令に基づき行われる治験を① SMO 事業、GCP 省令の対象外となる臨床研究・調査を② その他事業として表示している。
- ・ 売上構成は、① 39 億円、② 1.5 億円であり、大半が①である。なお、2011/6(3Q) で前年の 87.8% の売上を計上しており、通期で前年実績を上回る見込である。
- ・ 同社は、1999/12 にイーピーエス (株) とパソナグループの共同出資で設立された (株) イーピーリンクが母体であるが、2005/7 に、同業の (株) ミントと合併している。また、事業拡大の一環として、2009/10 と 2009/11 に同業他社から SMO 事業を譲り受けている。譲受の対価は 0.5 億円、0.17 億円であり、ほぼ全額がのれんとして計上されている。なお、のれんの償却は年 0.1 億円ほどであり、業績に大きな影響は及ぼしていない。

● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は2010/9期)

- ・ 総資産は 33 億円。主に、現預金 20 億円、営業債権 8 億円、繰延資産 1 億円、敷金保証金 1 億円など。営業債権は大手製薬会社に対するものがほとんどであり、回収可能性には問題がないためか、貸倒引当金は計上されていない。
- ・ 負債は 9 億円。未払費用 1 億円、未払税金 2 億円、預り金 2 億円、賞与引当金 2 億円など。役員退職慰労引当金 0.2 億円以外は、全て流動負債である。なお、有利子負債は存在しない。
- ・ 純資産 24 億円のうち利益剰余金が 17 億円であり、設立以来 11 期で着実に利益を積み上げてきている。少なくとも過去 5 年間は継続的に配当が実施されており、配当性向は 15.0%~18.5% で推移している。
- ・ 収益状況は、粗利率 (34.2%)・営業利益率 (14.9%)・経常利益率 (14.9%) とともに、前年とほぼ同水準であり、収益構造は安定していると見られる。原価のうち約 80% は人件費であり外注費が計上されていないことから、業務はほぼ内製化されているようである。また、販管費もその 64.1% が人件費であり、人材への依存度の高いビジネスであると見受けられる。営業外損益及び特別損益には、特に大きな項目は計上されておらず、営業利益がほぼ税前利益と等しくなっている。

● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・ 調達予定額は 3.3 億円。資金用途は、業務管理総合システム開発投資 (1 億円)、新規取引先 (医療機関) 獲得費用 (1 億円)、人材確保費用 (1.3 億円) であり、いずれも 2012/9 までに使用する予定。
- ・ 意外にも、リスク情報には SMO 事業は参入障壁が低い旨が記載されている。設備投資が不要であることが理由とのこと。
- ・ 先述の通り、同社はイーピーエス (株) の子会社であり、議決権の 63.3% を保有されている。今回の公募・売出で議決権は 54.8% まで下がる見込ではあるが、依然として過半数は保有される見通しである。なお、設立当初に出資していたパソナグループは、現在は株主から外れている。
- ・ その他の大株主は、従業員持株会 (8.2% : IPO 前の議決権比率)、代表取締役 (3.9%)、(株) メディカルアソシア (3.0%) 等である。新株予約権は、議決権の 13.3% 程度であり、その多くが代表取締役に付与されている。また、VC12 社が議決権の 7.8% を保有している (プロパー出資を含む)。
- ・ 役員構成は、取締役 4 名、監査役 3 名。代表取締役は、合併消滅会社である (株) ミントの創業者であり、合併に際して同社の代表取締役に就任している。逆に、存続会社である (株) イーピーリンクの設立当初の役員は、非常勤監査役に一名いるのみである。また、(社) 全国社会保険協会連合会の元理事長が非常勤監査役に就任しているが、60 歳以降の経歴しか記載されておらず、現役時代の職歴は不明。

© (株) アカウンティング・アシスト (無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書 (I の部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実認識等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。